

研究課題名	AI を用いた腹部超音波検査画像からの肝線維化および脂肪化の推定に関する検討
研究の意義・目的	慢性肝疾患では、肝臓の線維化や脂肪化が病気の進展、発癌、食道静脈瘤や腹水などの合併症や予後と非常に深くかかわることが知られています。肝線維化や脂肪化は、肝生検を実施して肝臓の組織を調べることがわかりますが、出血や疼痛のリスクを伴う検査です。近年、フィブロスキャンという超音波機器で肝硬度や脂肪を測定することが可能となり、それにより肝の線維化や脂肪化が推定できるようになりました。しかしながら、フィブロスキャンという専用機器を有し、検査を実施できる施設は限られます。本研究は、日常診療で実施される腹部超音波検査で得られた画像を AI (artificial intelligence:人工知能) を用いた方法で解析し、肝硬度および脂肪化の進展度を仮想的に推定することを目的としています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2030 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2017 年 4 月から 2023 年 3 月に大阪市立 (もしくは公立) 大学医学部附属病院 もしくは MedCity21 で、肝疾患の診断や治療のために、受診もしくは入院され、腹 部超音波検査とフィブロスキャン検査を受けた方が対象となります。また、Med City21 で健診として腹部超音波検査とフィブロスキャン検査を受けた方も対象と なります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程や健診で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、性別、検査前の状態、基礎疾患、フィブロスキャンによる肝硬 度や脂肪化測定値など診療録、検査データ、腹部超音波検査や CT、MRI、レントゲ ン検査を含む画像データの記録】
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は大阪公立大学医学部附属病院肝胆膵内科、放射線科、人工知能学および、 MedCity21 のみで行います。 【研究責任者】大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 打田佐和子

<b>個人情報の取り扱い</b>	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p>
<b>本研究の利益相反</b>	<p>本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<b>研究に協力をしたくない場合</b>	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<b>連絡先</b>	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 (担当者氏名) 打田 佐和子 電話番号：(06) 6645-3905</p>